

二宮 淳 議員



一問一答方式

- ①市長の政治姿勢
- ②保育所の受け入れ体制
- ③広報大洲等
- ④斎場問題

市長の政治姿勢について

問 市長は3選を目指す決意を表明された。これまで、地域産業の

競争力強化や交流人口の拡大、様々な取り組みを進めてこられたとは思いますが、よかった点ばかりではなく反省点も踏まえなければ、よりよい市政運営にはつながらないのではないかと。改めてご自身が取り組んだ2期

8年を振り返って、清水市長のご所見を伺いたい。

答 私は、平成21年9月に市長に就任させていただいてから今日まで

チェンジ（変革）、コラボレーション（協働）、チャレンジ（挑戦）の3つのCをまちづくりの基本として、将来に夢と誇りを持てる活力ある大洲市を目指して取り組んできました。

市民の皆様から3期目へのご信任をいただき、当選を果たすことができませんでしたら、市民の皆様の声を可能な限り反映し、残されている課題解決に向け全身全霊をかけて取り組み、産業が息づき、地域が息づき、交流人口をふやし、そして安心・安全で住み続けたいと思えるような人文化、自然が生きるまちづくりを目指して邁進していく覚悟であります。

保育所の受け入れ体制について

問 旧長浜町では人口減少によりいくつかの保育所が閉鎖されてきたが、そのことにより長浜保育所と大和保育所の入所希望者は常に定員をオーバーして、空き待ちの状態で

ある。人口減少が著しい長浜だが、これからを担う子育て世代の負担をなるべく軽減したいものである。例えば白滝保育所まで通園バスを運行すること等できることもあるのではないかと思うが、見解を伺いたい。

答 長浜地域の保育所バスについては、閉鎖した地域の児童を長浜及び大和保育所へ受け入れるために導入をしたのですが、保育ニーズが増加したことにより、両園だけでは受け入れきれない状況が生じています。保育所を閉鎖した地域の児童については、長浜及び大和保育所に行き先だけ入所できるよう調整をしたいと考えています。対応し切れない場合は、今後白滝保育所へのバス運行も検討する必要があるものと考えています。

広報大洲等について

問 「広報大洲」は、大洲市の大切な情報などをお知らせする重要な媒体であるが、地区入りをしている市民への配布はどのようにしているのか。

答 地区入りをしていない世帯の方への配布については、市の連絡所、公民館のほかスーパーやコンビニ、病院など市内34カ所に広報を配置しており、さらに市ホームページからも広報を閲覧することができ、併せてアプリ「マチイロ」を利用することで、スマートフォンからも閲覧することが可能です。



毎月発行されている広報大洲

毎月発行されている広報大洲